

12月12日にPTA役員の皆様と一緒に1年生が校外美化活動を行いました。お忙しい中、多数の役員の方々に集まっていた



だき、学校周辺の通学路を中心とした道路及び側溝のゴミを拾っていきました。PTAの活動をなかなか見ることができないので生徒たちも保護者の皆様の協力を肌で感じる良い機会になったと思います。ありがとうございました。



12月17日には柔道全国選抜兵庫県予選が行われ、60kg級の栄選手(1年)と81kg級の北口選手(2年)が出場しました。この大会は11月県新人大会で各階級ベスト8以上が出場でき、本校はベスト16敗退の選手が多かったため、2名の出場となったようです。2名とも厳しい戦いを強いられ、栄選手はGS(ゴールドスコア・延長戦)まで持ち込んだのですが、一瞬のタイミングで技ありをとられ敗戦。北口選手も強豪相手に

食らいつきましたが残念ながら敗戦となり、今年は選抜大会出場ができませんでした。この敗戦を糧に1月の近畿新人大会では、準備をして県総体に繋がる戦いをして欲しいと思いました。お疲れ様でした。

12月18日にはやしろショッピングパークBioで「かとうもち麦フェス」が行われ、ランチBOXの販売協力、生活科学科と姫路のKomelさんが共同



開発したもち麦ベーグルの販売、さらにはもち麦うどん打ち体験やアイシングクッキー作り体験の協力に加え、本校Seicaの焼菓子&ケーキ販売に参加しました。また、いつも商品開発等で大変お世話になっている株式会社マルヤナギ小倉屋さんも協力しておられる「もち麦フェス」でしたので、市内の子供たち、市民の皆様にもち麦の周知を図るお手伝いができたと思います。なかなかの盛況で、うどん打ちやクッキー作りでは子供たちが大活躍。本校生も楽しみながら参加できたようです。本校Seicaは定番商品に加え、次々と新商品が出ており、味も見た目も進化がしているように感じました。生徒たちの頑張りが伝わる「もち麦フェス」でした。加東市長、副市長も駆けつけておられ、地域との連携、企業との連携などまさに本校の素晴らしい取組をPRできたと思います。生徒の皆さんお疲れ様でした。また準備から当日の販売までご指導いただいた先生方ありがとうございました。

新型コロナに関する影響は本校にもでており、3年2組を13日から17日まで学級閉鎖にし、体育科の寮も一度閉鎖をさせていただきました。19日から再スタートを切りましたが、小中学生の感染も多く、ご家庭で濃厚接触になったり、その後陽性が確認されたりと期末考査以降増加傾向が続いています。新人大会への参加も各部署で調整が続き、厳しい状況でサッカー部は県新人大会予選2回戦で敗退。バドミントン部は東播地区部門別大会で1部2年男子吉田選手と女子川村選手が1位、女子高橋選手が2位と健闘。2部(高校から始めた選手の部門)では2年女子播田選手が1位と健闘しました。男女のバスケットとバレーは24日から県新人東播地区予選が行われます。なかなかコンディションを整えるのが難しい状況ですが、体調管理をしっかりして臨んでください。

17日以降どんどん寒くなり、兵庫県でも北部は雪が降りました。朝の気温は-5℃。22日の冬至に向け日の出は7時台に。窓を閉め切ることも多く、換気が少なくなると感染症は増加します。インフルエンザとの同時流行も今年は起こりかけているようです。寒さ対策、感染防止対策など一人ひとりの自覚のもとしっかりとした対策をとって欲しいと思います。同時に今までのように社会を止める事はなく、旅行、帰省等も今年は普段通りとなると思いますので、ワクチン接種と共に生活のリズムをしっかりと保ち免疫力を高めておきましょう。今年一年の振り返りをして、年明けからの取組を考えて行きましょう。